



# Rotary Weekly

## 広島空港ロータリークラブ週報

2018年2月28日発行

会長 乗越耕司 / 副会長 佐々木正親 / 幹事 河井一郎 / SAA 玉川勇二郎

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2017-18年度

イアン H.S. ライズリー R I 会長テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

### ロータリー: 変化をもたらす



MAR 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

休会

IM

例会

休会

例会

#### 本日のプログラム (2月28日)

名誉会員 益谷昌治 様  
「2018年(戌年)の株式の見通し」

#### 次のプログラム (3月10日)

インターシティ・ミーティング  
三原国際ホテル 13:30~19:00(現地集合解散)

## 第1103回 2018年2月21日 例会記録

点 鐘 乗越会長

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ロータリアンの行動規範唱和

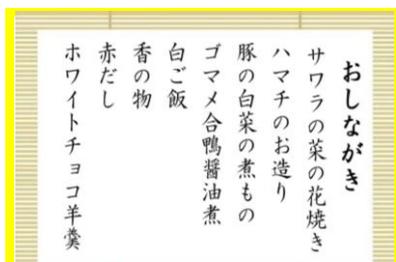
### ビジター紹介

(東広島) 有村健二さん、西田修司さん

### 出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (2/21)	27 1	22 1	2	2 1	92.31
メイク	灰谷・三好				
前々回 (1/31)	27 1	19	2	4 2	84.00
メイク	灰谷、重森				

### 食事時間



### 会長時間

大きな寒波が通り過ぎ、ここ数日は大分過ごしやすくなりました。このまま春が訪れてくれたらと思います。



さて、今オリンピックが開催されていますが、日本の選手団大変頑張って昨日現在メダルが10個という事です。後2つ3つは大きな可能性がある所以期待したいと思います。連日選手が頑張っている姿を見て、勇気と感動を頂いていることに感謝したいと思います。

2月7日の4クラブ合同例会では皆様方に大変お世話になり、盛会裏に無事終了することが出来ました。3月10日には三原でIMがございましてのようしくお願いします。IMが終わりますと、今年度の大きな行事が終わり新年度の準備になります。今年度会長を務めさせていただいておりますが、いろんな面で皆様にご迷惑をお掛けしております。来年は澤井次年度会長の元、今年の足らなかった部分、出来なかった部分をしっかりと皆様方の協力の元にリードして頂ければと思っています。

今日は三原市教育委員会文化課の山崎様に卓話をお願いしております。非常に楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願い致します。ビジターでおいでくださいました有村様、西田様お時間がございましたらごゆっくり話を聴いていただければと思います。

## 幹事報告

《配布物》卓話資料・週報1101.1102号  
ロータリーの友・ガバナー月信  
抜粋のつづり  
《回覧》職場体験受入事業所確認表  
ガバナー杯 練習試合・試合日程  
IM出欠表  
ロータリー手帳予約  
米山奨学生 黄リンナさんメール  
韓国 3690 地区大会のご案内  
2020-21 年度ガバナー予定者お知らせ

## 卓話時間

三原市教育委員会  
文化課 文化財係  
主任主事兼学芸員  
山崎 愛一郎 様



### 蔵出し三原のお宝解説 ～「忠臣蔵」のなりたち～

皆様こんにちは。三原市教育委員会文化課に勤務しております山崎と申します。今日は三原とも実は縁が深い忠臣蔵について少しお話をさせていただきたいのでどうぞよろしく願いいたします。

元禄 14 (1701) 年三月十四日、江戸城内・松の廊下あこう あさのたぐみのかみ こうけひつとう きらこうずけのすけ にんで赤穂藩主・浅野内匠頭が高家筆頭・吉良上野介に刃傷じょうに及んだ。内匠頭は殿中で刀を抜いた罪で即日切腹、赤穂藩は改易。一方、上野介は眉間と背中に傷を負ったがお構いなし。この裁きに対し、亡き主君の恨みおおいしくらを晴らすべく元禄 15 (1702) 年 12 月 14 日、大石内蔵助以下、元赤穂藩の家臣 47 名が吉良邸に討ち入り、上野介の首級をあげた。その後赤穂浪士たちは幕府の裁決を待ち、元禄 16 (1703) 年 2 月 4 日、寺坂吉右衛門もんを除く 46 名は切腹を命じられた。この事件を歴史的には「赤穂事件」と呼ぶが、いつの間にか「忠臣蔵」と呼ぶようになったのは、松の廊下刃傷から 47 年後の寛延元 (1748) 年に、並木宗輔・竹田出雲・三好松らく洛によって書かれた浄瑠璃や歌舞伎の名作『仮名手本忠臣蔵』ほんちゆうしんぐらの影響であった。江戸時代に生きた人々からすれば現代の話となる赤穂事件、これをそのまま

上演することは徳川幕府に対して憚りがあり、南北朝時代の『太平記』の世界に置き換えることで徳川幕府の検閲を逃れている。よって登場人物は浅野内匠頭がえん やはんがん塩冶判官、吉良上野介がこうのもろなお高師直、大石内蔵助がおおほし むすけ大星由良助というように名前も変えられている。

なお、『赤穂浪士』と題されたものは昭和 3 (1928) 年から昭和 4 (1929) 年にかけて出版された大佛次郎おさらぎじろうの小説が最初といわれている。

『仮名手本忠臣蔵』という題について、意味は諸説あり、「仮名手本」は四十七士といは四十七文字を符合させたもの、「忠臣蔵」は忠臣が蔵にたくさん入っている、蔵は内蔵助を意味するというもの、いろは歌を七字区切りにし、その一番下の字を並べると「とかなくてしす」(咎無くて死す)という言葉になるなどである。

忠臣蔵を上演すると必ず大当たりということから“忠臣蔵は独参湯”どくじんとう、つまり不況に効く特効薬などと呼ばれて、最も上演頻度の高い作品となった。全 11 段で構成され、通しで上演すると一日かかる。よって一般的な公演では好ましい段だけを上演することが多い。

三原市は赤穂事件と大変ゆかりがある。並木宗輔が若かりし頃、本町の成就寺で修行をしていたということ。赤穂浪士の一人である間喜兵衛はざまきへえの伯父とされる、槍の達人の里村一入さとむらいちにゆうが三原に住まいしていたこと。文政 2 (1819) 年に完成した青木充延著の『三原志稿』に、間家から遺物として贈られた槍を原隆伯が所持していたことが記されていること、討ち入りから 21 年後に三原城で赤穂事件について聞き取りをしたとされる記録『義臣伝三原秘録』が残っていること。本町の宗光寺で大正時代から義士祭が行われていることなどである。番外編では、史実に則ったことかは定かではないが、吉良家家老の小林平八郎は元々三原の生まれであったという話も伝わっている。また、昭和 16 (1941)

年に前篇，昭和 17（1942）年に後篇が公開された映画『元禄忠臣蔵』の建築監督，昭和 31（1956）年に公開された映画『赤穂浪士 天の巻 地の巻』の脚本を手がけたのが三原市名誉市民の新藤兼人である。『元禄忠臣蔵』では原寸大の松の廊下を製作し，話題を呼んだ。

忠臣蔵を通して見るとよくわかるが，忠と孝，愛，そこから生まれる葛藤，登場人物各々が示す“生きる目当て”“死ぬ目当て”などの壮大な人間ドラマが描かれていること，また雪月花・季節のめぐりを順々に盛り込こんでいることが日本人の心に響く所以といえるであろう。赤穂浪士の墓前に手向けられる線香は絶えない。先述の『赤穂浪士 天の巻 地の巻』で，泉岳寺へ引き上げる赤穂浪士の姿を目にする上杉家ちさかひょうぶ家老の千坂兵部と大盗賊の蜘蛛くもの陣十郎じんじゅうろうのやりとりが最後の場面にある。新藤兼人は「そうだ，死んだらおしまいだ。（中略）そのうちわしもお前も死ぬ。15万石の御家を守るだけに生きた男も，世間を震えあがらせた大泥棒も死んだらしまいだ。だがあの男たちは違う。わしは真実羨ましいと思う。あの男たちこそ，いつまでも死ぬことのない人間たちなのだ」と千坂兵部に語らせる。赤穂事件にゆかりのある人物は，“忠臣蔵”の中で今なお生きている。

#### 参考文献

『三原の歴史と人物』楠務 編集

昭和 52（1977）年 2 月 25 日 発行

『堀部安兵衛』吉行淳之介 著

昭和 55（1980）年 5 月 25 日 発行

『NHK大河ドラマストーリー 峠の群像』

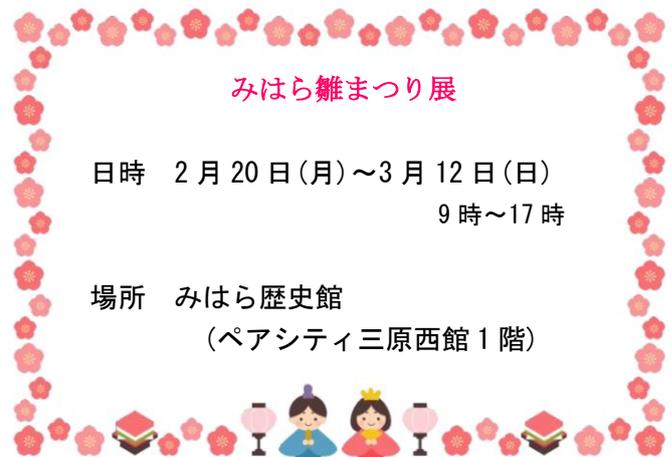
藤根井和夫 編集

昭和 57（1982）年 1 月 10 日 発行

『写真忠臣蔵』吉田千秋 著

昭和 58（1983）年 12 月 5 日 発行

三原駅前の三原歴史館では、今お雛様を飾っております。三原の町残っています中で一番状態がよく古い雛人形など飾ってございますのでお近く通られましたらお立ち寄りいただければ嬉しいです。



### みはら雛まつり展

日時 2月20日(月)～3月12日(日)  
9時～17時

場所 みはら歴史館  
(ペアシティ三原西館1階)

#### 今後の例会・行事予定

3月7日(水)	休会 (ビクターサイン受付あり)
3月10日(土)	IM 三原国際ホテル (現地集合解散)
3月14日(水)	通常例会(戦略会議パート1) 理事会
3月18日(日)	会長エレクトセミナー (澤井会長エレクト出席)
3月21日(水)	休会 (ビクターサイン受付なし)
3月28日(水)	通常例会(戦略会議パート2)

#### I M

日時 3月10日(土) 13:00～19:00

場所 三原国際ホテル 6F

テーマ 『ロータリーの心で地域の創生を』

13:30～14:00 開会式

14:10～15:50 第1部 講演

講演 「 ヤマトグループが進めるイノベーション  
～物流による新たな付加価値の創造～」

ヤマトホールディングス(株)

代表取締役会長 木川 眞 様

16:00～17:00 第2部 講演

講演 「Aslotfeshoma～アズロットフェショーマ

(おかげさま)～」

高松南 RC パスト会長 マスウド・ソバハニ様

17:00～閉会式 17:30～19:00 懇親会